フコクしんらい
smart life partner

NEWS RELEASE

平成２３年２月１０日

平成２２年度第３四半期報告

フコクしんらい生命保険株式会社（本社：東京都港区白金台 3-2-10、社長：大嶋 邦男）の平成２２年度第３四半期の業績をお知らせします。

※資料中、「第３四半期累計期間」は「４月１日～１２月３１日」を、「第３四半期会計期間」は「１０月１日～１２月３１日」を表しております。

目　次

１．主要業績 …… １頁

２．資産運用の実績（一般勘定） …… ３頁

３．四半期貸借対照表 …… ５頁

４．四半期損益計算書 …… ６頁

５．経常利益等の明細（基礎利益） …… ８頁

６．ソルベンシー・マージン比率 …… ９頁

７．特別勘定の状況 …… ９頁

８．保険会社及びその子会社等の状況 …… ９頁

（参考１）証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況 …… ９頁

（参考２）第３四半期会計期間の業績 ……１０頁

フコクしんらい生命保険株式会社

〒108-0071 東京都港区白金台 3-2-10 tel 03-5789-6790 fax 03-6672-8155 url http://www.fukokushinrai.co.jp

１．主要業績

（１）保有契約高及び新契約高

①保有契約高

（単位：千件、億円、％）

区分		平成22年度第3四半期会計期間末				平成21年度末	
		件数	前年度末比	金額	前年度末比	件数	金額
	個人保険	91	106.7	6,821	101.5	85	6,718
	個人年金保険	212	183.8	8,829	194.9	115	4,530
個人保険＋個人年金保険		304	150.9	15,651	139.1	201	11,248
団体保険		－	－	4,355	100.7	－	4,325

（注）個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

②新契約高

（単位：千件、億円、％）

平成21年度第3四半期累計期間		新契約＋転換による純増加		新契約	転換による純増加
		件数	金額	金額	金額
	個人保険	6	492	492	－
	個人年金保険	43	1,743	1,743	－
個人保険＋個人年金保険		50	2,236	2,236	－
団体保険		－	16	16	－

平成22年度第3四半期累計期間		新契約＋転換による純増加				新契約		転換による純増加	
		件数	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
	個人保険	10	154.5	651	132.2	651	132.2	－	－
	個人年金保険	98	224.3	4,364	250.3	4,364	250.3	－	－
個人保険＋個人年金保険		109	215.0	5,016	224.3	5,016	224.3	－	－
団体保険		－	－	84	513.5	84	513.5	－	－

（注）1. 件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。
2. 新契約・転換による純増加の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。

（２）解約・失効契約高（個人保険＋個人年金保険）

（単位：億円、％）

区分	平成21年度第3四半期累計期間	平成22年度第3四半期累計期間	
			前年同期比
解約・失効契約高	538	500	92.9
解約・失効率	6.34	4.45	△ 1.89

（注）1. 失効後復活契約を失効と相殺せずに算出しています。
2. 解約・失効率の前年同期比には増減ポイントを記載しています。

（3）年換算保険料

①保有契約

（単位：百万円、%）

区分	平成22年度 第3四半期会計期間末	前年度末比	平成21年度末
個人保険	12,592	114.2	11,030
個人年金保険	78,116	199.9	39,081
合計	90,708	181.0	50,111
うち医療保障・生前給付保障等	1,733	96.6	1,794

②新契約

（単位：百万円、%）

区分	平成21年度 第3四半期累計期間	平成22年度 第3四半期累計期間	前年同期比
個人保険	1,160	2,198	189.5
個人年金保険	15,650	39,524	252.5
合計	16,811	41,723	248.2
うち医療保障・生前給付保障等	78	47	60.3

（注）1．年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。

2．「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

（4）主要収支項目

（単位：百万円、%）

区分	平成21年度 第3四半期累計期間	平成22年度 第3四半期累計期間	前年同期比
保険料等収入	179,566	441,968	246.1
資産運用収益	3,985	9,000	225.8
保険金等支払金	6,915	9,640	139.4
資産運用費用	314	59	18.9
経常利益	978	2,421	247.4
契約者配当準備金繰入額	316	283	89.6
四半期純利益	336	1,302	386.7

（5）総資産

（単位：百万円、%）

区分	平成22年度 第3四半期会計期間末	前年度末比	平成21年度末
総資産	919,044	187.1	491,123

２．資産運用の実績（一般勘定）

（１）資産の構成

（単位:百万円、%）

区分	平成22年度 第3四半期会計期間末 金額	平成22年度 第3四半期会計期間末 占率	平成21年度末 金額	平成21年度末 占率
現預金・コールローン	30,030	3.3	9,927	2.0
買現先勘定	－	－	－	－
債券貸借取引支払保証金	－	－	－	－
買入金銭債権	－	－	－	－
商品有価証券	－	－	－	－
金銭の信託	－	－	－	－
有価証券	879,904	95.7	474,408	96.6
公社債	879,158	95.7	473,550	96.4
株式	553	0.1	662	0.1
外国証券	－	－	－	－
公社債	－	－	－	－
株式等	－	－	－	－
その他の証券	193	0.0	195	0.0
貸付金	2,770	0.3	2,508	0.5
不動産	42	0.0	41	0.0
繰延税金資産	586	0.1	948	0.2
その他	5,709	0.6	3,289	0.7
貸倒引当金	△ 0	△ 0.0	△ 0	△ 0.0
合計	919,044	100.0	491,123	100.0
うち外貨建資産	－	－	－	－

（注） 不動産については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しております。

（２）有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの）

（単位:百万円）

区分	平成22年度第3四半期会計期間末 帳簿価額	時価	差損益	差益	差損	平成21年度末 帳簿価額	時価	差損益	差益	差損
満期保有目的の債券	247,454	250,173	2,719	5,769	3,050	83,682	85,334	1,651	1,973	322
責任準備金対応債券	578,685	591,576	12,891	14,491	1,600	347,947	347,594	△ 353	1,840	2,193
子会社・関連会社株式	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他有価証券	52,272	53,765	1,493	1,631	137	42,713	42,777	64	363	299
公社債	51,557	53,018	1,461	1,545	84	41,875	41,920	44	274	229
株式	558	553	△ 5	48	53	682	662	△ 20	49	69
外国証券	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
公社債	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
株式等	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他の証券	156	193	37	37	－	156	195	39	39	－
買入金銭債権	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
譲渡性預金	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
合計	878,411	895,515	17,104	21,892	4,788	474,343	475,706	1,362	4,177	2,814
公社債	877,696	894,768	17,071	21,806	4,734	473,505	474,848	1,342	4,087	2,745
株式	558	553	△ 5	48	53	682	662	△ 20	49	69
外国証券	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
公社債	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
株式等	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他の証券	156	193	37	37	－	156	195	39	39	－
買入金銭債権	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
譲渡性預金	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

（注） 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

（単位:百万円）

区分	平成22年度第3四半期会計期間末	平成21年度末
満期保有目的の債券	－	－
非上場外国債券	－	－
その他	－	－
責任準備金対応債券	－	－
子会社・関連会社株式	－	－
その他有価証券	－	－
非上場国内株式（店頭売買株式を除く）	－	－
非上場外国株式（店頭売買株式を除く）	－	－
非上場外国債券	－	－
その他	－	－
合計	－	－

（３）金銭の信託の時価情報

該当ありません。

３．四半期貸借対照表

（単位：百万円）

科目 ＼ 期別	平成22年度 第3四半期会計期間末 （平成22年12月31日現在） 金額	平成21年度末 要約貸借対照表 （平成22年3月31日現在） 金額
（資産の部）		
現金及び預貯金	30,030	9,927
有価証券	879,904	474,408
（うち国債）	（477,519）	（255,427）
（うち地方債）	（192,852）	（118,357）
（うち社債）	（208,785）	（99,764）
（うち株式）	（553）	（662）
貸付金	2,770	2,508
保険約款貸付	2,770	2,508
有形固定資産	91	98
無形固定資産	1,816	610
代理店貸	4	1
再保険貸	2	2
その他資産	3,836	2,618
繰延税金資産	586	948
貸倒引当金	△ 0	△ 0
資産の部合計	919,044	491,123
（負債の部）		
保険契約準備金	888,315	468,555
支払備金	1,007	1,064
責任準備金	886,797	466,905
契約者配当準備金	510	585
代理店借	1,149	1,872
再保険借	22	22
その他負債	8,366	1,829
未払法人税等	634	343
リース債務	1,104	－
資産除去債務	2	－
その他の負債	6,625	1,486
特別法上の準備金	378	246
価格変動準備金	378	246
負債の部合計	898,232	472,526
（純資産の部）		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	5,000	5,000
資本準備金	5,000	5,000
利益剰余金	△ 141	△ 1,443
その他利益剰余金	△ 141	△ 1,443
繰越利益剰余金	△ 141	△ 1,443
株主資本合計	19,858	18,556
その他有価証券評価差額金	952	40
評価・換算差額等合計	952	40
純資産の部合計	20,811	18,597
負債及び純資産の部合計	919,044	491,123

４．四半期損益計算書

（単位：百万円）

科目 ＼ 期別	平成21年度 第3四半期累計期間 （平成21年 4月 1日から 平成21年12月31日まで） 金額	平成22年度 第3四半期累計期間 （平成22年 4月 1日から 平成22年12月31日まで） 金額
経常収益	**183,636**	**451,130**
保険料等収入	**179,566**	**441,968**
（うち保険料）	（179,443）	（441,842）
資産運用収益	**3,985**	**9,000**
（うち利息及び配当金等収入）	（3,659）	（8,927）
（うち有価証券売却益）	（325）	（73）
その他経常収益	**83**	**162**
経常費用	**182,657**	**448,709**
保険金等支払金	**6,915**	**9,640**
（うち保険金）	（1,605）	（1,511）
（うち年金）	（104）	（131）
（うち給付金）	（942）	（2,039）
（うち解約返戻金）	（3,998）	（5,652）
（うちその他返戻金）	（104）	（151）
責任準備金等繰入額	**166,094**	**419,892**
支払備金繰入額	205	－
責任準備金繰入額	165,888	419,891
契約者配当金積立利息繰入額	0	0
資産運用費用	**314**	**59**
（うち支払利息）	（0）	（11）
（うち有価証券売却損）	（209）	（47）
（うち有価証券評価損）	（104）	（－）
事業費	**8,555**	**17,330**
その他経常費用	**778**	**1,785**
経常利益	**978**	**2,421**
特別損失	**55**	**132**
固定資産等処分損	**0**	**－**
特別法上の準備金繰入額	**55**	**132**
価格変動準備金繰入額	55	132
その他特別損失	**－**	**0**
契約者配当準備金繰入額	**316**	**283**
税引前四半期純利益	**606**	**2,005**
法人税及び住民税	**270**	**857**
法人税等調整額	**－**	**△ 155**
法人税等合計	**270**	**702**
四半期純利益	**336**	**1,302**

注 記 事 項

（四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係）

平成２２年度第３四半期会計期間末

1. 重要な会計処理の原則及び手続の変更
当第３四半期累計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第 18 号）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 21 号）を適用しております。
これに伴い、有形固定資産が２百万円増加し、資産除去債務が２百万円計上されております。
また、経常利益が０百万円減少し、税引前当期純利益が０百万円減少しております。
2. 有形固定資産の減価償却累計額は１０２百万円であります。
3. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。
イ．前年度末現在高　５８５百万円
ロ．当第３四半期累計期間契約者配当金支払額　３５９百万円
ハ．利息による増加等　０百万円
ニ．契約者配当準備金繰入額　２８３百万円
ホ．当第３四半期会計期間末現在高　５１０百万円
4. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

（単位：株）

	当四半期会計期間末株式数
発行済株式	
普通株式	400,000
合計	400,000

（四半期損益計算書関係）

平成２２年度第３四半期累計期間

1. １株当たり四半期純利益は３，２５６円２２銭であります。

５．経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	平成21年度 第3四半期累計期間	平成22年度 第3四半期累計期間
基礎利益　A	1,018	2,514
キャピタル収益	325	73
金銭の信託運用益	―	―
売買目的有価証券運用益	―	―
有価証券売却益	325	73
金融派生商品収益	―	―
為替差益	―	―
その他キャピタル収益	―	―
キャピタル費用	314	47
金銭の信託運用損	―	―
売買目的有価証券運用損	―	―
有価証券売却損	209	47
有価証券評価損	104	―
金融派生商品費用	―	―
為替差損	―	―
その他キャピタル費用	―	―
キャピタル損益　B	11	25
キャピタル損益含み基礎利益 A＋B	1,029	2,540
臨時収益	―	―
再保険収入	―	―
危険準備金戻入額	―	―
その他臨時収益	―	―
臨時費用	50	118
再保険料	―	―
危険準備金繰入額	50	118
個別貸倒引当金繰入額	0	0
特定海外債権引当勘定繰入額	―	―
貸付金償却	0	―
その他臨時費用	―	―
臨時損益　C	△ 50	△ 118
経常利益　A＋B＋C	978	2,421

〈参考〉 基礎利益の内訳（三利源）　（単位：百万円）

区　　分	平成21年度 第3四半期累計期間	平成22年度 第3四半期累計期間
基礎利益（①＋②＋③）	1,018	2,514
① 費差損益	△ 774	△ 264
② 危険差損益	1,331	1,233
③ 利差損益	461	1,545

（注）1.「費差損益」は想定した事業費と実際に支出した事業費等の額との差から生じる利益(△は損)です。
2.「危険差損益」は想定した保険金・給付金と実際に発生した支払額との差から生じる利益(△は損)です。
3.「利差損益」は想定した運用収益と実際の運用収益との差から生じる利益(△は逆ざや)です。

６．ソルベンシー・マージン比率

（単位：百万円、％）

項　　目		平成22年度 第3四半期会計期間末	平成21年度末
ソルベンシー・マージン総額	（A）	25,651	23,145
資本金等		19,843	18,556
価格変動準備金		378	246
危険準備金		1,175	1,056
一般貸倒引当金		0	－
その他有価証券の評価差額×90％（マイナスの場合100％）		1,344	57
土地の含み損益×85％（マイナスの場合100％）		－	－
全期チルメル式責任準備金相当額超過額		2,666	2,985
負債性資本調達手段等		－	－
控除項目		－	－
その他		242	242
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4$	（B）	6,454	3,763
保険リスク相当額	R1	607	619
第三分野保険の保険リスク相当額	R8	123	125
予定利率リスク相当額	R2	159	100
資産運用リスク相当額	R3	6,044	3,456
経営管理リスク相当額	R4	208	129
最低保証リスク相当額	R7	－	－
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2)\times(B)}\times 100$		794.8%	1,230.1%

（注）上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条及び第190条、平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています（全期チルメル式責任準備金相当額超過額は告示第50号第1条第3項第1号に基づいて算出しています）。

７．特別勘定の状況

該当ありません。

８．保険会社及びその子会社等の状況

該当ありません。

（参考１）証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

該当ありません。

（参考２）第３四半期会計期間の業績

・新契約高　　（単位：千件、億円、％）

区分		平成21年度第3四半期会計期間				平成22年度第3四半期会計期間							
		新契約＋転換による純増加		新契約	転換による純増加	新契約＋転換による純増加				新契約		転換による純増加	
		件数	金額	金額	金額	件数	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
	個人保険	2	204	204	－	4	152.0	261	127.8	261	127.8	－	－
	個人年金保険	18	729	729	－	21	119.1	799	109.5	799	109.5	－	－
個人保険＋個人年金保険		21	934	934	－	26	123.6	1,060	113.5	1,060	113.5	－	－
団体保険		－	0	0	－	－	－	53	8,801.3	53	8,801.3	－	－

（注）1．件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。
　　2．新契約・転換による純増加の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。

・新契約年換算保険料　　（単位：百万円、％）

区分		平成21年度第3四半期会計期間	平成22年度第3四半期会計期間	
				前年同期比
個人保険		531	945	178.0
個人年金保険		6,580	7,325	111.3
合計		7,111	8,270	116.3
	うち医療保障・生前給付保障等	29	16	57.4

（注）1．年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。
　　2．「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

・損益計算書

（単位：百万円）

科目 ＼ 期別	平成21年度 第3四半期会計期間 （平成21年10月 1日から 平成21年12月31日まで）	平成22年度 第3四半期会計期間 （平成22年10月 1日から 平成22年12月31日まで）
	金額	金額
経常収益	77,242	94,185
保険料等収入	75,515	90,405
（うち保険料）	（ 75,479 ）	（ 90,370 ）
資産運用収益	1,695	3,676
（うち利息及び配当金等収入）	（ 1,497 ）	（ 3,642 ）
（うち有価証券売却益）	（ 198 ）	（ 33 ）
その他経常収益	31	103
経常費用	76,812	92,963
保険金等支払金	2,672	3,432
（うち保険金）	（ 691 ）	（ 503 ）
（うち年金）	（ 53 ）	（ 66 ）
（うち給付金）	（ 323 ）	（ 708 ）
（うち解約返戻金）	（ 1,465 ）	（ 2,058 ）
（うちその他返戻金）	（ 84 ）	（ 44 ）
責任準備金等繰入額	70,348	85,409
支払備金繰入額	101	－
責任準備金繰入額	70,246	85,409
契約者配当金積立利息繰入額	0	0
資産運用費用	179	17
（うち支払利息）	（ 0 ）	（ 4 ）
（うち有価証券売却損）	（ 162 ）	（ 13 ）
（うち有価証券評価損）	（ 16 ）	（ － ）
事業費	3,302	3,668
その他経常費用	309	435
経常利益	429	1,221
特別損失	25	54
固定資産等処分損	－	－
特別法上の準備金繰入額	25	54
価格変動準備金繰入額	25	54
その他特別損失	－	－
契約者配当準備金繰入額	98	98
税引前四半期純利益	305	1,069
法人税及び住民税	160	328
法人税等調整額	－	68
法人税等合計	160	396
四半期純利益	145	672

・経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

		平成21年度 第3四半期会計期間	平成22年度 第3四半期会計期間
基礎利益	A	435	1,239
キャピタル収益		198	33
	金銭の信託運用益	―	―
	売買目的有価証券運用益	―	―
	有価証券売却益	198	33
	金融派生商品収益	―	―
	為替差益	―	―
	その他キャピタル収益	―	―
キャピタル費用		179	13
	金銭の信託運用損	―	―
	売買目的有価証券運用損	―	―
	有価証券売却損	162	13
	有価証券評価損	16	―
	金融派生商品費用	―	―
	為替差損	―	―
	その他キャピタル費用	―	―
キャピタル損益	B	19	20
キャピタル損益含み基礎利益	A＋B	454	1,259
臨時収益		―	―
	再保険収入	―	―
	危険準備金戻入額	―	―
	その他臨時収益	―	―
臨時費用		24	38
	再保険料	―	―
	危険準備金繰入額	24	38
	個別貸倒引当金繰入額	△ 0	0
	特定海外債権引当勘定繰入額	―	―
	貸付金償却	0	―
	その他臨時費用	―	―
臨時損益	C	△ 24	△ 38
経常利益	A＋B＋C	429	1,221

〈参考〉 基礎利益の内訳（三利源）

（単位：百万円）

区　　分		平成21年度 第3四半期会計期間	平成22年度 第3四半期会計期間
基礎利益（①＋②＋③）		435	1,239
	① 費差損益	△ 154	84
	② 危険差損益	389	240
	③ 利差損益	200	914

（注） 1.「費差損益」は想定した事業費と実際に支出した事業費等の額との差から生じる利益(△は損)です。
2.「危険差損益」は想定した保険金・給付金と実際に発生した支払額との差から生じる利益(△は損)です。
3.「利差損益」は想定した運用収益と実際の運用収益との差から生じる利益(△は逆ざや)です。

以　　上